

『さっきやま魂』

R5. 9. 8 第10号

発行人：校長 中山 未永

昨日と違う姿

「運動会まで、あと〇日だって！」

校長室前を通って行く子どものつぶやきが聞こえてきます。どんな気持ちが込められているのかわかりませんが、きっと「楽しみだなあ」「がんばろう」という最後の運動会にける強い思いが一人ひとりの心の中にあるのだらうと思っています。

厳しい暑さの中で、毎日のように練習が続いています。体力的にも、かなりきついと思いますが、みんなが全力で頑張っています。それでは、子ども達の練習の様子をいくつか紹介します。

1～4年生の表現「怪獣の鼻歌」 このタイトルから、どんなダンスになるのか、私には全く想像できませんでしたが、先日、教室で映像を見ながら練習する様子を見ることができました。スクリーンに映し出される動きをまねて真剣に練習しています。中には、動きを完璧に覚えて、リズムにのって楽しそうに踊っている子どももいました。運動場での練習では、両手にキラキラ光るボンボンを持ち、一段とレベルアップした動きを見ることができました。本番でも元気いっぱい踊る子ども達を見て、会場のテンションも一層高まるのでは・・・と楽しみにしています。

5・6年生と中学生の表現「ソーラン節」 校長室にいると高学年の教室から、ソーラン節のかけ声が聞こえてきます。その声を聞くだけで、子ども達の気合いが伝わってきます。運動場の練習では、腰を低くした体勢や一つ一つの切れのある動きから、漁師さんの力強さを感じることができました。本番でも、その力強い動きと気合いの入ったかけ声の迫力に、みんなが圧倒されることでしょう。

本番が近まり、練習時間も残りわずかとなってきましたが、「昨日と違う姿」を目指して、最後まで全力で頑張り切ります。毎日の練習で、かなりの体力を消耗し、疲れもたまってきていると思います。これからも「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、生活リズムを整えることで、本番を最高の体調で迎えられるようよろしくお願いします。



「崎山音頭」復活！

コロナ禍の影響で、運動会の種目からなくなっていた「崎山音頭」を、今年度、やっと復活させることができました。今回も牟田ナル先生に指導をお願いし、快く引き受けていただきました。

牟田先生の元気とやる気に圧倒される場面もありましたが、歌を歌ったり、一つ一つの動きをゆっくり確認したりしながら、崎山の伝統を守るために、一生懸命頑張りました。



短い練習時間でしたが、牟田先生の指導のおかげで、本番でも自信をもって踊れるだろうと楽しみにしています。

当日は、保護者の皆様・地域の方々にも参加していただく予定です。子どもの輪の中に入り、子どもの動きを真似しながらみんなで楽しく「崎山音頭」を踊っていただけたらと思っていますので、ご協力をお願いします。